

白川町子ども発達支援システムとは

子どもの発達には個人差があり一人一人違います。しかし、中には非常に落ち着きがなくてじっとしてられない子、特定のことに強いこだわりを示す子、学習に著しい困難を感じている子など、発達が気になる子がいます。また、このような特性をもった子どもをどのように育てていったらいいかと悩んでいる保護者もいます。

白川町では胎児（母親の妊娠期）のころから中学校を卒業するまでに、保健センター、乳幼児学級、こども発達支援教室、保育園、小・中学校など様々な機関が子どもに関わっていますが、さらに白川町教育委員会や町外の教育・福祉・医療などの機関も手を取り合い、その子に必要な教育的支援をする仕組みを作っています。

このように、白川に育つ子どもたちが安心して生活することができ、得意を見つけ、伸ばし、社会の中で自立できるようにすることを願って、平成25年度に立ち上げたものが**白川町子ども発達支援システム**です。

下の図に示すように、**白川町発達支援連携協議会**がこの仕組みの中核を担い、関係諸機関と連携を図りながら、**途切れのない支援**を進めています。

